



芝草通信

“作用機構別の殺菌剤早見表”

殺菌剤を作用機構別にグループ分けしてみました。

作用機構	グループ名	有効成分名	農薬名(例)	耐性菌出現リスク
A 核酸合成代謝	PA 殺菌剤 (フェニルアミド)	メタラキシル M	サブデューマックス	高
	DNA/RNA 生合成 (提案中)	ヒドロキシイソキサゾール	サンブレイク	未発生
B 有糸核分裂と細胞分裂	MBC 殺菌剤 (メチルベンゾイミダゾールカーバマート)	ベノミル	ベンレート	高
		チオファネートメチル	トップグラス	
	フェニルウレア	ペンシクロン	セレンターフ	未発生
C 呼吸	SDHI (コハク酸脱水素酵素阻害剤)	フルトラニル	グラボスト	中～高
		メプロニル	シャルマツの一部	
		チフルザミド	イカルガ	
		フルキサピロキサド	セルカディス	
		フラメトピル	リゾトップ	
		ペンフルエン	オブテイン	
		ペンチオピラド	ガイア	
		ボスカリド	エメラルド	
	Qol 殺菌剤 (Qo 阻害剤)	アズキシストロビン	ヘリテージ	高
		ピコキシストロビン	ハイジャンプ	
		ピラクロストロビン	オナーの一部	
		マンデストロビン	ディアマンテの一部	
		クレソキシムメチル	ターフトップ	
		トリフロキシストロビン	デディケートの一部	
		フルオキサストロビン	ビゴールドの一部	
		ピリベンカルブ	ファンターフ	
	Qil 殺菌剤 (Qi 阻害剤)	シアゾファミド	ランマン P	中～高 (耐性菌リスク未知)
		アミスルプロム	ベスグリーン	
	QoSI 殺菌剤 (QoS 阻害剤)	アメトクトラジン	ザンプロターフ	中～高 (Qoi とは交差しない)
	D アミノ酸及び蛋白質合成	グルコピラノシル抗生物質	ストレプトマイシン	アグリマイシンの一部
テトラサイクリン抗生物質		オキシテトラサイクリン	アグリマイシンの一部	

FRAC コード表日本版 (2018 年 3 月) を参考に改編

裏面へ続く

作用機構	グループ名	有効成分名	農薬名(例)	耐性菌出現リスク
E シグナル伝達	PP 殺菌剤 (フェニルピロール)	フルジオキシニル	メダリオン	低～中
	ジカルボキシイミド	イプロジオン	インターフェースの一部	中～高
		プロシミドン	ダラーキック	
F 脂質合成または輸送膜の構造または機能	ジチオラン	イソプロチオラン	グラステン	低～中
	AH 殺菌剤 (芳香族炭化水素)	トルクロホスメチル	グランサー	低～中
	カーバメート	プロバモカルブ塩酸塩	プレビクールN	低～中
G 細胞膜のステロール生成	DMI 殺菌剤 (脱メチル化阻害剤)	トリホリン	サブロール	中
		オキシボコナゾールフマル酸塩	ベンコシャインの一部	
		トリフルミゾール	トップティの一部	
		シプロコナゾール	シバンバの一部	
		ジフェコナゾール	ダイブの一部	
		ヘキサコナゾール	シバンバ EX の一部	
		イミベンコナゾール	ツインサイド	
		メトコナゾール	芝美人	
		マイクロブタニル	ラリー	
		プロビコナゾール	バナーマックス	
		シメコナゾール	パッチコロン	
H 細胞壁生成	ポリオキシシン	ポリオキシシン	ポリオキシシンZ	中
P 宿主植物の抵抗性誘導	ホスホナート	ホセチル	シグネチャー	低
U 作用機構不明	グルコピラノシル抗生物質	バリダマイシン	バリダシン	耐性菌未発生
	ピリミジノンヒドラゾン	フェリムゾン	トルファンの一部	耐性菌未発生
	テトラゾリルオキシム	ピカルブトラゾクス	クインテクト	耐性菌未発生
M 多作用点接触 活性化化合物	無機化合物	銅 (種々の塩)	ドウグリソ	低
		硫黄	イオウ	
	ジチオカーバメート	マンゼブ	ベンコシャインの一部	
		プロビネブ	プロテクメート	
		チウラム	ダコグリーンの一部	
		ジラム	モノドクター	
	フタルイミド	キャプタン	オーソサイド	
	クロロタロニル	TPN	ダコニールターフ	
	ビスグアニジン	イミノクタジン酢酸塩	カシマン	
		イミノクタジンアルベシル酸塩	ボディーブロー	

FRACコード表日本版(2018年3月)を参考に改編

商品名や成分名だけでなく、グループ名まで確認してローテーションを組むことをおすすめします。